

定員化部品規格

GM 部品番号併記

ホルダナット
Holder Nuts

主 管：車両審査実験部
材料開発第 1 課
開発技術企画部
技 術 情 報 G
制 定：2000 年 11 月 28 日
最終改：2012 年 10 月 22 日

1. 適用範囲

この規格は、主として自動車用に使用するホルダナットについて規定する。本規格部品は、新規の使用を禁止とする。

2. 種 類

ホルダナットの種類は、組合わせるホルダの形状により表 1 の 7 種類とする。

表 1 ホルダナットの種類

種 類	ホルダの形状		付 表 No.
K 形	両 足	丸穴パイロット付	1
L 形	片 足		
A 形	両 足	丸穴パイロットなし	2
B 形	片 足		
C 形	両 足	長 穴 (たて)	3
D 形	片 足		
E 形	両 足	長 穴 (よこ)	4

3. 機械的性質

ナットの機械的性質は、ISA-M-010Y に規定する保証荷重試験および硬さ試験にて、表 2 の値を満足すること。

表 2 ナットの機械的性質

保証荷重応力 MPa		450
硬さ (最大)	HV	302
	HRC	30

4. 形状・寸法

ホルダナットの形状及び寸法は、付表 1～4 による。

5. 表面処理

ナットの表面処理は、ISC-B11-004Y に規定する MFZn8S とする。ホルダは、表面処理を施さない。

6. 表面状態

- 1) ナットの表面欠陥は、JIS B 1042の規定を満足すること。
- 2) 使用上有害な、ばり、かえり、さびなどの欠陥がないこと。

7. 性能

ホルダの片方を保持して、ナットに表 3 の試験トルクをかけた時、ナットが空転してはならない。

表 3 試験トルク

ナットの呼び径	4	5	6	8	10	12
トルク N・m	1.3	2.5	4.9	12.3	24.5	49.0

8. ね じ

ねじは、JIS B 0205-4 とする。ねじ精度は、JIS B 0209-2 の 6H とし、表面処理後、公差位置 H の通りゲージを用いた JIS B 0251 による試験に満足しなければならない。

9. 材 料

ナットの材料は、ISA-M-010Y の強度区分「5N 相当」とする。ホルダ及びパイロットの材料は、JIS G 3141 の SPCC 又は JIS G 3313 の SPHC とする。

10. 部 品 番 号

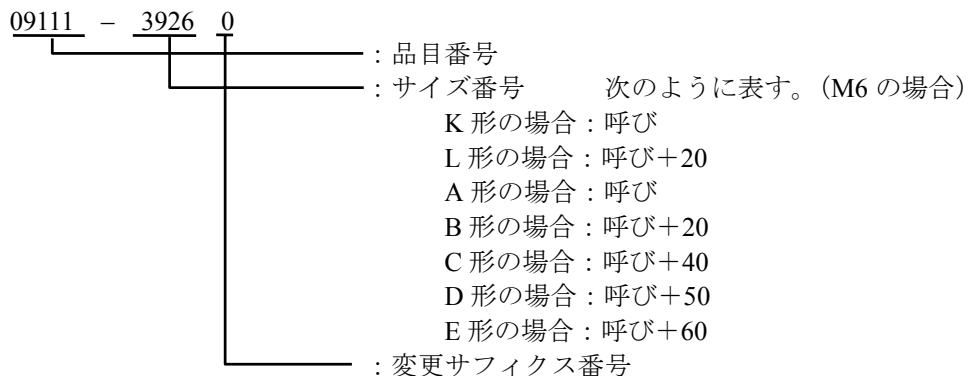
部品番号は各付表による。

いすゞ部品番号（10 桁）の付番の原則は、表 4 の 品目番号 に サイズ番号（呼び×長さ） ・ 変更サフィックス番号 を連記して表す。

表 4 品目番号

品 目 番 号 ¹⁾	品 目
09111-38	K 形, L 形, 丸穴, パイロット付
09111-390/3	A 形, B 形, 丸穴, パイロットなし
09111-394/5	C 形, D 形, 長穴（たて長）
09111-396	E 形, 長穴（よこ長）
注 ¹⁾ ホルダナットの種類（K 形, L 形…）を示す付番方法は、品目番号に加えて次の例に示すようにサイズ番号の 2 桁を利用して行う。	

〔いすゞ部品番号の付番例〕



11. 環境負荷物質

部品への使用制限及び報告義務のある物質は、**ISC-A00-008Y** による。

12. 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発行年を付記しているものは、記載の年版だけがこの規格を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。発行年を付記していない引用規格は、その最新版（追補を含む）を適用する。

ISA-M-010Y	鋼製ナットの機械的性質
ISC-A00-008Y	部品への使用制限や報告義務のある物質
ISC-B11-004Y	亜鉛及び亜鉛合金めっき
JIS B 0205-4:2001	一般用メートルねじー第4部：基準寸法
JIS B 0209-2:2001	一般用メートルねじー公差ー第2部： 一般用おねじ及びめねじの許容限界寸法ー中（はめあい区分）
JIS B 0251:1998	メートルねじ用限界ゲージ
JIS G 3131:2005	冷間圧延鋼板及び鋼帯
JIS G 3141:2005	熱間圧延軟鋼板及び鋼帯

13. 付 則

- (1) この規格は、2012年10月22日から施行する。
- (2) この規格の施行により2008年8月19日改正 **ISD-C13-500A** を廃止する。

関連標準：ISD-C10-501C

六角ナット

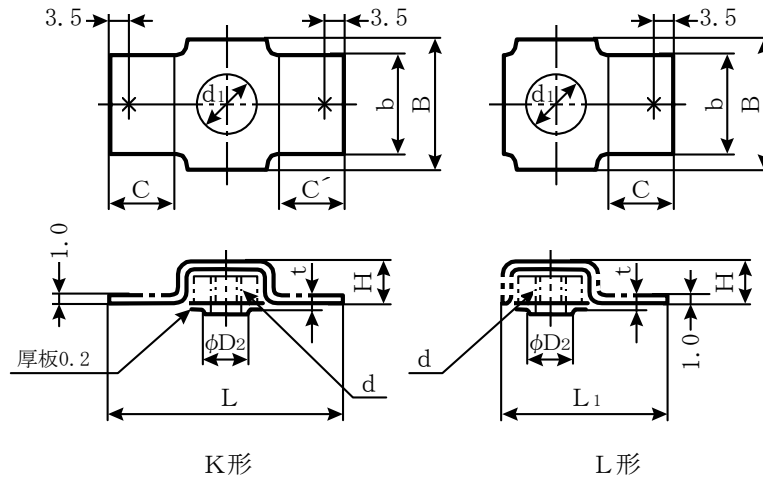
2012年10月22日改正の要点

- 1) **1. 適用範囲**の本規格の廃止時期を削除。6)参照
- 2) **6. 表面状態**の項を追加。
- 3) **8. 材料** ナットの材料は、**ISA-M-010Y**の強度区分は4Nから「5N相当」に変更。
- 4) GM部品番号併記は、GM式部品番号（10桁）からGM部品番号（8桁）に変更。
これに伴い、旧9.2項および9.3項を削除。
- 5) **付表1-1, 1-2の注記** “部品番号表にないサイズを使用したい場合の検索方法”，“品番申請手続き”に関する記述を削除。
- 6) **附属書A**を設定して、ユーセージのある6品番はこれに移行。
IST部品規格（社内専用）にて「*定員化部品（△）」に設定し、新規の使用を禁止する。
将来、ユーセージがなくなった時点で「再使用禁止部品（×）」に移行し、本規格は廃止とする。

定員化部品規格

付表 1 ホルダナット, K 形, L 形
NUT; HOLDING, W/PILOT TYPE, K, L品目番号
09111-38

GM 部品番号併記



K 形

L 形

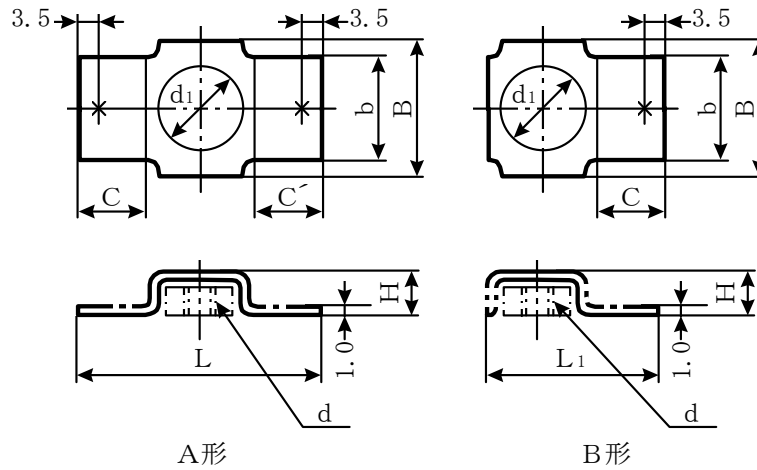
※ 下表各行で、上段：いすゞ部品番号を表示し、下段：GM 部品番号を参考表示する。

単位：mm

部品番号		K 形			
		L 形			
ナット	呼 び (d)		M5×0.8	M6×1.0	M8×1.25
	二面幅 (最小) ¹⁾		9.8	10.8	14.0
	高 さ (最小)		3.4	4.4	5.4
ホルダ	d ₁ (最小)		7	8	10.5
	B (最大)		18	20	24.5
	b (最大)		14	16	20.5
	H (最大)		6.2	6.5	8.7
	C (最小)		10	10	12
	L (最大)		35	36	47
	L ₁ (最大)		24	25	35
パイロット部	D ₂ ^{-0.1 -0.3}		7	9	11
	t ^{0 -0.2}		0.8	0.8	0.8
調整可能範囲 (最小)			1.5	2	2
参 考	相手板穴径 ^{+0.3 0}		7	9	11
	相手板板厚		0.8~2.0	0.8~2.6	0.8~2.6
注 ¹⁾ 二面幅は、ナット締付面における寸法とする。又 * 印は、使用時の点溶接箇所を示す。 注記 1. 単体でナット、パイロット板がはずれないこと。 注記 2. パイロット板の取付けは、溶接でなくともよいが著しいガタのないこと。					

定員化部品規格

GM 部品番号併記

付表2 ホルダナット, A 形, B 形
NUT; HOLDING, TYPE A, TYPE B品目番号
09111-390/3

A形

B形

※ 下表各行で, 上段: いすゞ部品番号を表示し,
下段: GM 部品番号を参考表示する。

単位: mm

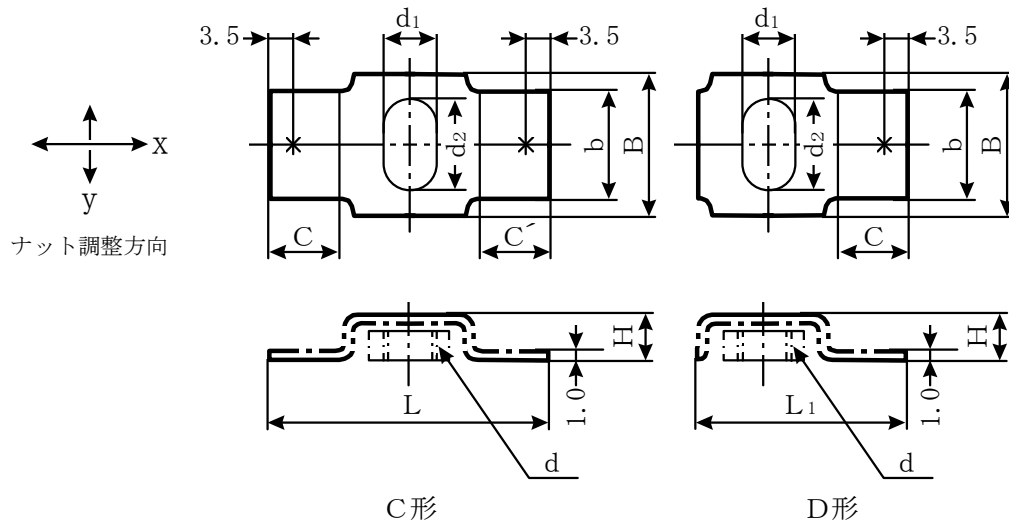
部品番号	A 形						
	B 形						
ナット	呼び (d)	M4×0.7	M5×0.8	M6×1.0	M8×1.25	M10×1.25	M12×1.25
	二面幅 (最小) ¹⁾	8.5	9.8	10.8	14.0	15.5	17
	高さ (最小)	3.4	3.4	4.4	5.4	6	6
ホルダ	d ₁ (最小)	6	7	8	10.5	12	14.5
	B (最大)	16.5	18	20	24.5	27.5	29
	b (最大)	12.5	14	16	20.5	23.5	25
	H (最大)	6.2	6.2	6.5	8.7	8.7	8.7
	C (最小)	10	10	10	12	12	12
	L (最大)	34	35	36	47	47	47
	L ₁ (最大)	24	24	25	35	35	35
調整可能範囲 (最小)		1.5	1.5	2	2	2	2
(参考)溶接する板の穴径		6	7	8	10.5	12	14.5

注 ¹⁾ 二面幅は, ナット締付面における寸法とする。又 * 印は, 使用時の点溶接箇所を示す。

注記 単体でナットがはずれないこと。

定員化部品規格

GM 部品番号併記

付表3 ホルダナット, C形, D形
NUT; HOLDING, ADJ, TYPE C, TYPE D品目番号
09111-394/5

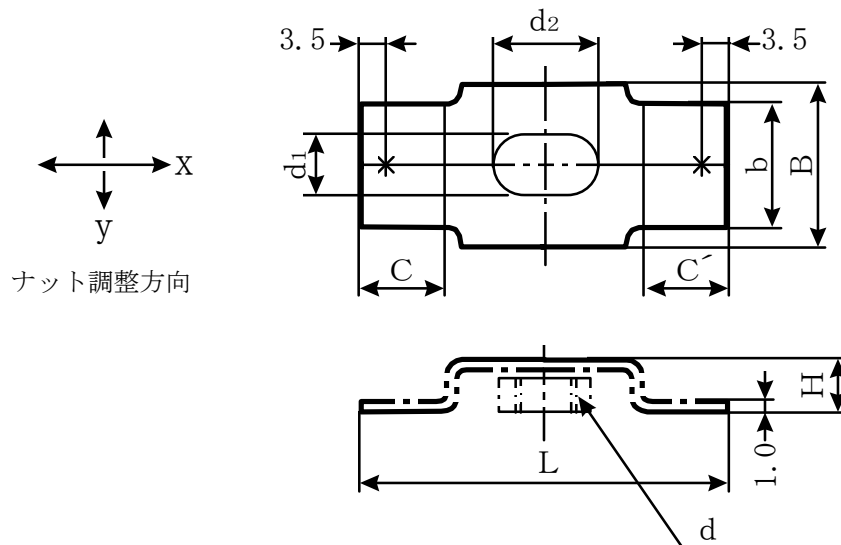
※ 下表各行で、上段：いすゞ部品番号を表示し、
下段：GM 部品番号を参考表示する。

単位：mm

部品番号		C 形				
		D 形				
ナット	呼び (d)		M4×0.7	M5×0.8	M6×1.0	M8×1.25
	二面幅 ¹⁾ (最小)		8.5	9.8	10.8	14.0
	高さ (最小)		3.4	3.4	4.5	5.4
ホルダ	d ₁ ×d ₂ (最小)		6×10	7×12	8×13	10.5×15.5
	B (最大)		16	18	20	23
	b (最大)		12	14	16	19
	H (最大)		5.5	5.5	6.5	7
	C (最小)		10	10	10	12
	L (最大)		36	40	41	50
	L ₁ (最大)		26	29	30	37
調整可能範囲 (最小)		x	1.5	1.5	2	2
		y	5	6	7	7
(参考)溶接する板の穴径			6×10	7×12	8×13	10.5×15.5
注 ¹⁾ 二面幅は、ナット締付面における寸法とする。又 * 印は、使用時の点溶接箇所を示す。 注記 単体でナットがはずれないこと。						

定員化部品規格

GM 部品番号併記

付表 4 ホルダナット, E 形
NUT; HOLDING, ADJ, TYPE E品目番号
09111-396

※ 下表各行で, 上段: いすゞ部品番号を表示し,
下段: GM 部品番号を参考表示する。

単位: mm

部 品 番 号					
ナット	呼び (d)	M4×0.7	M5×0.8	M6×1.0	M8×1.25
	二面幅 ¹⁾ (最小)	8.5	9.8	10.8	14.0
	高さ (最小)	3.4	3.4	4.5	5.4
ホルダ	d ₁ ×d ₂ (最小)	6×10	7×12	8×13	10.5×15.5
	B (最大)	16.5	18	20	24.5
	b (最大)	12.5	14	16	20.5
	H (最大)	5.5	5.5	6.5	7
	C (最小)	10	10	10	12
	L (最大)	36	40	41	49
調整可能範囲 (最小)		x	5	6	7
		y	1.5	1.5	2
(参考)溶接する板の穴径		6×10	7×12	8×13	10.5×15.5
注 ¹⁾ 二面幅は, ナット締付面における寸法とする。又*印は, 使用時の点溶接箇所を示す。 注記 単体でナットがはずれないこと。					

附属書A (規定) ホルダナット

1. 序 文

本附属書に移行した部品についてはIST部品規格（社内専用）にて「*定員化部品（△）」に設定し、新規の使用を禁止する。将来、ユーセージがなくなった時点で「再使用禁止部品（×）」に移行し、本規格は廃止とする。

2. 適用範囲

この附属書は、主として自動車用に使用する以下のホルダナットについて規定する。

＜本附属書Aが対象とする品番＞

0911139040, 0911139050, 0911139260, 0911139280, 0911139560, 0911139680

3. 種 類

ホルダナットの種類は、**附属書A表1**による。

附属書 A 表 1 ホルダナットの種類

種 類	ホルダの形状		付表 No.
A 形	両 足	丸穴パイロットなし	附属書 A 付表 1
B 形	片 足		
C 形	両 足	長 穴（たて）	附属書 A 付表 2
E 形	両 足	長 穴（よこ）	附属書 A 付表 3

4. 機械的性質

ナットの機械的性質は、規格本体 **3. 機械的性質**による。

5. 形状・寸法

ホルダナットの形状及び寸法は、**附属書 A 付表 1～3**による。

6. 表面処理

ナットの表面処理は、規格本体 **5. 表面処理**による。

7. 表面状態

ホルダナットの表面状態は、規格本体 **6. 表面状態**による。

8. 性 能

性能は、規格本体 **7. 性能**による。

9. ね じ

ねじは、規格本体 **8. ねじ**による。

10. 材 料

ナットの材料は、規格本体 **9. 材料**による。

11. 部品番号

ホルダナットの部品番号は**附属書 A 表 1～3**による他、規格本体 **10. 部品番号**による。

12. 環境負荷物質

部品への使用制限及び報告義務のある物質は、規格本体 **11. 環境負荷物質**による。